

ハルナグループ 高崎に新倉庫

来月中に稼働

飲料メーカーのハルナグループ（高崎市足門町、青木麻生CEO）は12日、本社・工場隣に新たな倉庫を建設し、3月中に稼働を始めると発表した。販売数量の増加に伴い不足している物流拠点を確保し、倉庫の賃貸費を抑える。

新倉庫は、茶類の製造を主に手掛ける工場に隣接して建てる。延べ床面積は約3千平方メートル、20万ケースを保管できる。総工費は約3億円。

2019年4～12月のグループ全体の販売数量は3673万ケース

スで前年同期より156万ケース増えた。現在は榛東村の自社倉庫

や賃貸倉庫で保管しているが、倉庫容量が足りなくなったという。

同時に発表した同年4～12月期連結決算は、売上高が前年同期比5%増の192億1600万円、経常利益が13%増の4億9100万円、いずれも過去最高。青木CEOは「5期連続の増収増益へ進んでいきたい」とし、20年度からの人事制度改革で人材育成に力を入れる考えを示した。